

みさと 市議会だより



No. 200

2025年1月15日号

年4回発行

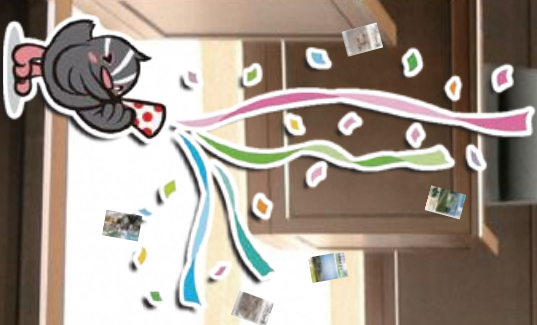
発行 埼玉県三郷市議会

主な内容

令和6年12月定例会

- ・ 論点「自主防災組織による防災用品購入への補助金を追加します」・・・・・・・・・・・・・2
- ・ 200号記念特集・・・・・・・・・・・・・3
- ・ 市政に対する一般質問・・・・・・・・・・・・・4
- ・ 12月定例会提出議案とその結果・・・・・・・・10
- ・ 市議会だよりのあゆみ・・・・・・・・・・・・・12

創刊200号を迎えました



12月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案がどのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

論点

自主防災組織による防災用品購入への補助金を追加します

12月定例会 12/2~12/13

12月定例会には、市長から9議案が提出され、原案通り可決しました。

議案第66号 令和6年度三郷市一般会計補正予算(第5号)

主な内容▽自主防災組織が防災活動を行う際に使用する防災資機材等の購入に関し、補助金を追加する「自主防災組織活動推進事業」など。

▽本会議や委員会では、次のような質疑がありました。

問 能登半島地震の影響を受け補助金申請が増加したとのことだが、具体的内容は。

答 当初予算額は405万円であり、9月で400万円の補助額に達したため、200万円の追加を行うものである。補助金申請が多い資機材は、発電機、簡易トイレ、消火器、ヘルメット、トランシーバーなどである。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。



防災資機材等整備補助金 補助額

購入

補助初年度 購入金額(上限30万円)
次年度以降 購入金額の2分の1以内の額(上限15万円)

修繕

修繕金額の2分の1以内の額(上限15万円)



★ 補助金を申請するには、購入前に危機管理防災課への事前相談が必要です ★

対象資機材		品 名 (一 例)
防災資機材 (ヘルメット等の一部例外を除き、防災倉庫に備蓄するものに限る。)	装備用具	誘導旗、ヘルメット、腕章、発電機、投光器、テント
	情報用具	携帯ラジオ、トランシーバー、電池メガホン、警笛
	避難用具	照明器具、体温保温用具、仮設トイレ、簡易トイレ
	消火用具	可搬ポンプ、消防用ホース、防火衣、消火器、バケツ
	救出用具	救助用工具セット、梯子、大バール、ハンマー
	救護用具	救急用品、担架、担架用ポール、おんぶ帯
	給食給水用具	調理用具、かまど、コンロ、なた、燃料、浄水機
	その他の防災資機材	家具転倒防止器具、感震ブレーカー(設置に係る費用を除く)
防災倉庫	格納用具	防災倉庫、収納棚

自主防災組織とは

町会、自治会、管理組合などを単位として、地域住民が自主的な防災活動を行う組織です。市長への自主防災組織設立の届け出が必要です。



市民に親しまれる 広報紙に

三郷市長

木津 雅晟



皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

このたびは、創刊200号を心からお祝い申し上げます。

昭和50年の創刊以来、議員活動や市政をわかりやすく掲載され、議会への関心を高め、議会と市民をつなぐ大きな役割を果たしてこられましたことに、深く敬意を表します。

この創刊200号を機に更なる飛躍をされ、これからも市民から親しまれる広報紙となりますことを、心よりご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

議会をもっと身近に 感じてもらえるように

三郷市会議長

鈴木 深太郎



皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。このたび議会だよりは、1975年に創刊以来200号を数えることが出来ました。皆様には、市議会の活動に対し、ご支援・ご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

これからも皆様の声を行政に届け、市民から親しまれる、より身近な議会の創出に議員一同、一層取り組んでまいりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【三郷市議会だより 200号記念特集】

市議会だよりが創刊された昭和50年の三郷市は、人口74,930人、20,689世帯で、当時の一般会計の予算は約59億5,940万円、議員は30名でした。

令和6年4月1日現在の人口は141,935人、68,036世帯で、令和6年度一般会計の当初予算は580億5千万円、議員は24名です。

市議会だより200号を記念して、市議会の活動とともに三郷市の沿革を振り返ってみたいと思います。

日付	主な出来事（三郷市）	主な出来事（議会）
昭和31(1956)年	彦成、東和、早稲田の3か村が合併し、三郷村が誕生 人口1万7,313人	合併後、村議会議員は東和地区22名、彦成地区22名、早稲田地区16名の60名で構成したが、任期前に総辞職をし、翌年の昭和32年8月に選挙を行い26人が選出された。
昭和39(1964)年	町制施行、三郷町となる 人口2万1,766人	
昭和47(1972)年	市制施行、三郷市となる 三郷市民憲章制定 人口4万9,618人	
昭和52(1977)年	勤労者体育館・青少年ホーム開館	議員定数（法定数36人を30人に減）
昭和57(1982)年	市制施行10周年 市の人口10万人突破	
昭和58(1983)年	市役所新庁舎落成 市立図書館開館	
平成4(1992)年	市制施行20周年 東京外環自動車道開通 人口13万1,125人	
平成9(1997)年	市民課窓口の日曜開設	議員定数（30人を28人に減）
平成14(2002)年	市制施行30周年 市内初のコミュニティバスが運行開始 人口13万1,161人	
平成17(2005)年	ピアラシティ開業 つくばエクスプレス開通、三郷中央駅開業	議員定数（28人を26人に減）
平成25(2013)年	日本一の読書のまちを宣言	議員定数（26人を24人に減）
平成28(2016)年	3村合併60周年	三郷市子ども議会開催
平成29(2017)年	市制施行45周年 人口14万人達成	
令和4(2022)年	市制施行50周年	



市制施行50周年記念式典



三郷流山橋お絵描き体験イベント





市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

佐々木 修
渡邊 雅人
一色 雄生
深川 智加

寺沢 美紗
鳴海 和美
宇治由紀子
佐藤 智仁

西村寿美枝
田上 広子
工藤智加子
菊名 裕

佐藤 睦郎
柳瀬 勝彦
加藤 英泉

市政に対する監査と政策提案の実現のため、15人の議員が4日間にわたり市政運営全般に対し一般質問を行いました。

※記事掲載は順不同。内容は各議員が要約して執筆しています。

紙おむつのサブスク・

定額利用について



議員

サブスクとは、サブスクリプションの略で、一定期間、定額を支払うことで商品やサービスを利用できるビジネスモデル。メリットとして、保護者側は、紙おむつ1つ1つに名前を書く手間が無くなり、何枚も持参する必要が無くなる。保育園側としては、紙おむつの個別管理が無くなり、業務負担が軽減され、ごもたちと向き合う時間を増やす事ができる。利用料金は月額、約2,200円〜2,500円程で、導入するにあたり自治体の持ち出しや費用はかからない。サービスを提供している企業と防災協定を結ぶ事で、保育園の在庫として管理している紙おむつを災害時に地域や

避難所へ提供したり、おむつの流通量が不足した際、優先的に確保してもらったこともできる。公立保育所における現状と今後をお伺いする。

こども未来部長

サブスクで指定

された紙おむつが日常使用していない商品の場合や、こどもの肌に合わない等の理由から利用しない保護者も想定される。導入によるメリット・デメリットがあることから保護者負担の軽減や保育現場の状況等の様々な視点から検討を進めていく。

その他の質問

条例等のアップ
デートなど

婚活支援

「婚活まんまるバスツアー」について

議員

婚活まんまるバスツアーは、三郷市を含む5市1町で構成される埼玉県東南部都市連絡調整会議が主催する婚活イベントである。行政が行う婚活支援事業は「官製婚活」と呼ばれ、人口減少対策や少子化対策として期待される一方、結婚という個人的事柄に行政が関わるのは行き過ぎという声もある。官製婚活は民間よりも経済的負担が軽減されるが、事業費用を公費で賄う

ことから実績を求めなければならないが、市内参加者の現状と今後の取り組みについて、性別、年代別の人数と成立実績、今後どのようなテーマをもって取り組むか伺う。

企画政策部長

全体の定員が40名。

令和4年度は市内参加者10名のうち成立3組、令和5年度9名のうち成立なし、令和6年度7名のうち成立4組。市内参加者の性別および年代別人数は、令和6年度実績で男性は30代・40代各1名、女性は30代5名である。今後も引き続き新たな出会いの場と結婚のきっかけを提供するとともに、埼玉県東南部地域の住環境等の魅力を紹介することで、定住人口の増加につなげることを目的に実施していく。

その他の質問

学校問題



買い物困難地域の

高齢者支援を

議員

コロナ禍を経てネットスーパー等が充実し、配送による買い物は大変便利な時代となった。しかし、買い物に出かけることは、高齢者の孤立や引きこもりの防止、また認知症やフレイル予防のために非常に重要である。ある自治体は、「お買い物クラブ」として、生鮮食品等の店舗から離れた地域の高齢者を、ボランティアドライバーが送迎する事業を行っているが、三郷市における買い物困難地域の高齢者支援について伺う。

いきいき健康部長

市では現在、生活援助が必要な高齢者の買い物代行や家事援助等を行う「軽度生活援助事業」等、食事の確保や買い物困難な高齢者に対する様々な支援を実施している。議員ご提案の事



業は、高齢者の買い物支援にボランティアの力をお借りすることで地域の支え合い体制の構築に有効と考える。一方で、実施するうえでの課題や、市で現在行っている事業の検証、NPO法人や民間事業者による取組の効果を把握するとともに、先進自治体について情報収集を行い、本市の実情に合わせた支援のありかたを研究していく。

その他の質問

情報発信問題など

災害関連死審査会設置条例の

制定を！

議員

災害時の避難所の環境改善など、災害関連死が出ないよう万全な対策を講じることが、何より重要である。その上で、不幸にして避難生活中に亡くなる方がおられることも想定する必要がある。災害関連死は医師や弁護士などの有識者による審査会が認定し、認められると弔慰金が支給される。審査会は市が条例で設置することになるが、発災後では大幅に支援が遅れるため、早期に検討を進めるべきと考える。

そこで、災害関連死の審査会設置に関する条例を制定することについて伺う。

市長

災害弔慰金は、災害関連死と認定された場合も遺族に支給されるが、災害関連死の判定が困難な場合、支給までに時間がかかることが全国的な課題となっている。このような中、令和元年の災害弔慰金の支給等に関する法律の改正により、「市町村は、災害弔慰金の支給に関する事項を調査・審議するため、審議会などの機関を置くよう努めること」とされている。審議会設置の重要性は認識しているが、国から統一的な認定基準が示されていないという課題がある。今後も国や近隣自治体の動向を注視するとともに、関係機関と調整を図っていく。

その他の質問

交通安全対策など

市内中学校の制服について

議員

以前、市内中学校の制服について、就学にかかる費用をこれまでよりも少なく抑えるという観点を主軸に準制服制度の導入を提案したが、その後経済的負担の軽減に加えてジェンダーフリーへの対応も踏まえた検討が進んでいると聞き及んでいる。その進捗を確認すると共に、今後は製造メーカーや市内

の販売店といった流通の当事者となる方々との連携を密に取り、新制服導入にあたって製造や販売体制の構築に遅れが発生しないよう充分なサポートを実施することを求めるが市の見解は。

学校教育部長

これまで校長会や新制服検討委員会での議論を重ねてきた。その上で現在（令和6年12月時点）はデザイン決定へ向けて展示会実施や投票を進めている。今後は製造の軸となるマスターメーカーと共にその他製造メーカーや販売店へ説明やサポートを実施し、令和8年度から従来の各校別制服と新制服（市内中学校統一型標準服）のどちらも選択できる運用の開始を目指している。

その他の質問

広報施策



防犯カメラによる犯罪抑止と「わんわんパトロール」への協力について



議員

全国を騒がす強盗犯罪に市民が不安を感じている。頻発する犯罪に対して犯罪抑止効果がある防犯カメラへのニーズは高まっているが、設置に対しての市の取組は。また、「わんわんパトロール」が全国で広まっている。揃いの「わんわんパトロール」と明記した腕章やグッズを身に付けて散歩をすることで地域防犯意識の高まりが期待できる。オリジナルの可愛いグッズを配布し、「わんわんパトロール」へ協力してもらうことについて伺う。

市民生活部長

現在、市では青色防犯パトロールや啓発活動などの取り組みを行っている。防犯カメラは犯罪の抑止力となり、犯行の重要な証拠となるため、非常に重要であると認識している。また、「わんわんパトロール」は、愛犬との散歩に防

犯の視点を加えることで実施できる防犯活動で、日常生活の中で実施できる「ながら防犯」の一つであり、地域の防犯力向上のための有効な手段であると考えている。今後も防犯カメラによる対策や、「わんわんパトロール」について、先進地の取り組み等を調査研究していく。

その他の質問

選挙問題

三郷市における生活困窮者自立支援制度の事業内容と傾向

議員

生活困窮者の尊厳を守りながら地域社会の中で自立できるよう支援をしていく本事業において、当人も気がついていない潜在的な課題が含まれ、複合的に絡み合っている場合が多いものと考えている。これまで寄せられた相談内容や件数を伺い、三郷市における生活困窮者の傾向を知り理解を深めたうえで、具体的な支援方法及び実績を伺う。また、入り口を一つにしてわかりやすい窓口とした、ふくし総合相談室窓口において、初期の聴き取りを行う際、職員の傾聴力や専門性、気づきの力が必要になると思われる。職員の専門性や研修体制についても伺

う。

福祉部理事

相談内容としては、精神疾患による若年層の就労困難、高齢者の就労困難による生活苦、8050問題などがあり、相談延べ件数は、コロナ禍の令和2年度は1,490件、5年度は457件である。支援方法の一つとして住宅確保給付金事業があり、その申請者数は2年度175件、5年度17件である。職員は社会福祉士などの有資格者であり、県が開催する担当職員研修会、関連機関による事例検討会などに参加している。

その他の質問

交通問題

学校の働き方改革について

議員

日本の学校は勉強も教えて、部活動で生活指導、生き方を教えたりにしています。今は、それ全部を先生方には求められないのが現状です。教師の業務ですが、負担軽減が可能な業務。学校の業務ですが、必ずしも教師が担う必要のない業務。基本的には学校以外が担うべき業務。これらの仕分けがしっかりと確認できて実行に移すことが必要です。しかし教師ひとりひとり違

います。規則を決めるようなやり方ではなく、選択肢を増やし、教師の皆様がやりがい、生きがいを持って働けることが大切です。働き方改革について、現在の課題と将来に向けた取り組みを伺います。

教育長

学校における働き方改革については、令和元年より、国、県、市が一体となって取り組んでいる。今後もこの取り組みを通して「令和の日本型学校教育」を推進し、児童生徒のより良い教育環境の実現に努めていく。

学校教育部長

課題として、教職員の時間外在校等時間が長いこと、経験豊富な人材の確保等が挙げられる。保護者や地域の皆様、関係機関のご理解ご協力を得ながら教職員の負担軽減に努め、教職員をサポートできる体制整備を図り、教職員一人ひとりが健康で、やりがいを持って教育活動に取り組む中で、市の教育の質の向上に努める。

その他の質問

健康問題についてなど



におどり公園の イベント専用掲示板を！

議員

きっかけとなったのは、におどりプラザの関係者のかたから「におどり公園のイベント専用の掲示板が欲しい」というお声からでした。私自身も感じていたことです。掲示物が多すぎて、イベントの情報「いつ、どこで、どんなイベントがあるのか」を把握することが出来ないうことがよく起こります。そこで、「イベント告知の掲示板利用について」伺います。

地域振興部理事

におどりプラザは、三郷中央地区の賑わい創出の一翼を担う存在となるなか、プラザ内



におどりプラザ内の掲示板

の入口に設置している掲示板には、多くの案内が掲載されているが、ご指摘の通り情報を把握しづらい状況になっていることを認識している。市としても、より多くのかたにイベント情報を届け、多くのかたが参加しやすい告知をすることが重要であると考え、におどりプラザ内の掲示板を活用し、カテゴリー別に分けてポスター等の掲示方法を工夫するなど、分かりやすい周知に繋がるよう、指定管理者と連携して対応していく。

その他の質問

防災について

下水道管保全のために 油やディスプレイのルール およびその周知について

議員

三郷市の発展とともに、新しい住宅やマンションが増え、商業施設や飲食店も増えてきている。下水道管の詰まりの原因として最も影響するのが「油」である。また、近年は台所で生ごみを粉碎して下水に流す「ディスプレイ」についても下水道管の負荷となることから、処理槽を伴わない直投型のディスプレイを禁止としている自治体も増えている。下水道管の保全のため

めに、ルールの明確化とともに市民・業者への周知・啓発が必要と考えるが、市の見解は。

建設部長

ご指摘のとおり油を含んだ排水により、年間約10件程度の閉塞が発生している。また、ディスプレイについては、下水道管の内部分において、堆積物の増加による閉塞等の影響が懸念されるため、内規により、原則設置を認めないこととしている。今後は要綱等の策定により、基準の明確化を図るとともに、公共下水道の「正しい使い方」の周知啓発に努め、下水道施設の機能保全に取り組んでいく。

その他の質問

健康問題など

5歳児健診支援事業の 実施を

議員

こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援がその後の成長・発達に影響を及ぼす点で重要であると言われている。こども家庭庁は健診に必要な費用を助成する予算措置を実施し、5歳児健診の実施を自治体に促してきた。すでに県内でも健診を開始している自治体がある。本市も遅れをとることなく来年度からの実施に向けて

検討するべきではないか。また健診の実施にあたっては、検診後のフォローアップ体制が重要であるが、どのように検討されているのか伺う。

こども未来部長

昨年12月に母子保健医療対策総合支援事業実施要綱が定められ、新たに1か月児健康診査及び5歳児健康診査が示された。市では、4か月、9か月、1歳8か月、3歳6か月に乳幼児健康診査を実施し、今年8月から1か月児健康診査の費用助成をしている。現在、3歳6か月児健康診査以降、就学時健康診査まで健康診査がないため、5歳児健康診査の速やかな実施に向け、検討を行っている。

健診結果でフォローとなった場合は、保護者の意向を確認しながら、こども発達支援センター等をご案内し、適切な療育や保護者への相談支援が行われるよう、関係機関と調整していく。

その他の質問

行財政問題など



防災士の資格取得に補助を



救急救命講習の様子

て資格試験に合格し、救急救命講習を受ける必要がある。自治体による研修費用・受験料の補助などが防災士増加の要因とみられ、三郷市も防災士育成の観点から研修費用や受験料の補助を検討している。

危機管理監 三郷市自主防災組織連絡協議会と共催で、各自主防災組織での防災リーダーの養成や災害時に必要な知識を習得する自主防災訓練指導者養成講座を積極的に推進している。今後、防災士の資格取得を推進している自治体の事例を調査、研究する。

その他の質問 環境改善など

生活保護の

スティグマ解消を

議員 生きていくうえで誰もが生活に困ることがある。生活保護は経済的に不足するところを補うことで、日々の暮らしを保障する。しかし、制度を利用できる人が実際にどれだけ利用しているかを示す割合は日本の場合、1割台といわれる。こうした中、物価高騰は低所得者にとって死活問題となっている。生活保護を利用せずに苦しい生活を我慢し続ける背景には心理的ハード

ルが高い現実があるとされる。生活保護は、生活の立て直しをするためにあり、社会の中で必要とする人に利用されてこそ意味がある。生活保護のスティグマ（差別、偏見）解消、ポスター・チラシの作成やしおりの改善、ケースワーカーの増員を求める。

福祉部理事 生活保護の相談窓口

においては、制度の説明に合わせ、申請は権利であることを伝え、本人の申請意思を確認している。「保護のしおり」の充実や、ポスター・チラシの作成、ホームページへの掲載については、他の自治体の事例を調査し、課題の整理をしていく。ケースワーカー数の充実については、人事担当部局とも協議を行い、適正な支援体制を確保するよう努める。

その他の質問 介護問題など

停止線と信号機の

設置基準について

議員 グランメディアオ三郷中央の前の横断歩道は信号機がついているが、停止線の位置からは死角になり見えない。信号機の設置基準では次の信号機までの距離を150m以上離すことになっているが、車の

停止線から横断歩道までの距離については現場の現況に応じて対応しているとのことであった。より安全な道路環境を整備していくためには、横断歩道と停止線の距離を5m以上と「信号機の設置指針」に含めて定めておくべきではないか。埼玉県交通安全施設に関する設置基準では3m以上となっているが、それでも死角になる場合がある。見直しも検討していただきたい。

市民生活部長 警察庁が公表する

「交通規制基準」の中で、横断歩道からの位置は原則1mから5mと定められている。見えづらい場所は必要に応じ吉川警察署に相談していく。

その他の質問 国保問題など



グランメディアオ三郷中央前の停止線

事務事業評価の

行政経費と成果

議員 先日令和7年度予算方針が

示された。限られた財源を最大限に活用するため、優先順位を明確にし、一層効率的な予算配分が必要と示されている。予算の視点から事務事業評価を検証したい。評価対象は市ホームページに掲載された506事業。評価にかかる1年間の経費は、各部署の評価に関わる職員の人件費205万円、企画政策課の年間評価(年2回)に関わる職員の人件費16万円、システム費154万円、合計約380万円。これに事務事業評価を手掛けた17年をかけると6460万円。17年間の事務事業評価にかけた約6500万円の成果について具体的な説明を求める。

企画政策部長 事務事業評価制度

では、事業の計画段階および執行後の評価を実施しており、各事業の見直しが適切に図られてきたと認識している。事業ごとに目標を設定し進捗を測ることで、各部署が主体的に目標達成に取り組む成果重視の庁内体制が醸成された。また、評価結果を公表することで行政の透明

性を確保している。一方、予算編成との連動や部署間の連携への課題も認識しており、行財政改革のより一層の推進に効果的な活用を図るよう、引き続き運用体制の構築や制度改善に努める。

【議会の詳細は「会議録」で】

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお12月定例会の会議録は2月下旬頃に更新する予定です。

▶**会議録速報版を公開**…閉会から概ね1か月程度で、ホームページ上にPDF形式で公開しますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

※状況により、公開が遅れる場合があります。

三郷市議会 会議録

検索



議会あれこれ

議員研修会を開催しました

11月25日に、議員18名で茨城県つくば市の国土技術政策総合研究所の視察を行いました。

特別委員会を開催しました

12月13日に、三郷インターチェンジ周辺対策特別委員会を開催し、「三郷北部地区土地区画整理事業第3回事業計画変更案」についてを議題としました。

他市からの行政視察がありました

- 「インクルーシブ公園」について…11月20日に岡山県玉野市議会 産業建設委員会。
- 「日本一の読書のまち推進事業」について…12月17日に東京都足立区議会 足立区議会議会改革を全力で推し進める会。
- 「クラウド型被災者支援システムの活用に関する取組」について…12月20日に奈良県奈良市議会 公明党奈良市議会議員団。

視察研修を行いました

- 「新政会」…11月11日に北海道札幌市の「若者支援総合センター Youth+の支援内容」、「動物の愛護及び管理に関する条例の制定」について、12日に北海道石狩市の「議会改革」について、13日に北海道小樽市の「福祉総合相談室『たるさぼ』」について。

議員の所属会派変更

- 12月27日付で、一色雄生議員が「21世紀クラブ」から「無所属」に所属会派を変更しました。



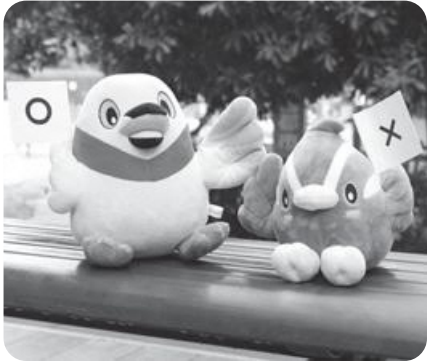
12月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○＝賛成　×＝反対

	号	件名	結果	新政会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	政志会
市長提出議案	60	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	61	三郷市道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○
	62	三郷市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○
	63	三郷市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○
	64	三郷市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例及び三郷市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	65	三郷市下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	66	令和6年度三郷市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○
	67	令和6年度三郷市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○
	68	令和6年度三郷市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わっていません。
※このほか陳情2件がありました。

会派名(人数) ※議案採決時	所属議員名 ※議案採決時
新政会(8)	武居 弘治、篠田 正巳、佐々木 修、田上 広子、宇治 由紀子、篠田 隆彦、齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ(6)	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人、一色 雄生
公明党(5)	鈴木 深太郎（議長）、酒巻 宗一、佐藤 睦郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党(3)	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい(1)	市川 文雄
政志会(1)	佐藤 裕之



市議会だより200号発行によせて

「みさと市議会だより」は昭和50年の創刊から毎年4号の発行を重ね、本号で「第200号」を迎えました。
今後とも、市民の皆様に議会活動について関心、理解を深めていただくために、より分かりやすく見やすい紙面づくりを目指してまいります。

議会だより編集委員会

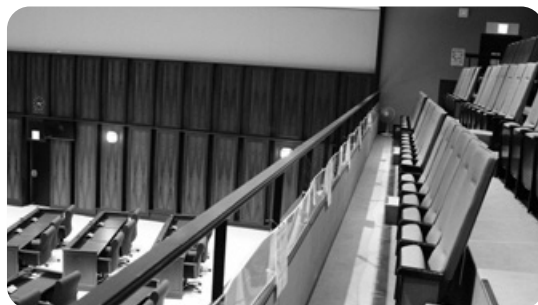


議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳、または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎ 048(930)7768
FAX048(953)1358



傍聴席60席(そのうち、車いす席3席)

..... 傍聴のルール

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

★傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

..... 傍聴 Q&A

Q. 議会はいつ傍聴できますか。

A. 議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。詳しい日程は議会事務局にお問い合わせください。

Q. 議会を傍聴したいのですが、どのような手続きをするのですか。

A. 本会議は原則として、どなたでも傍聴ができます。

通常は午前10時から会議が開かれますので、本庁舎7階傍聴席入口で氏名・住所を記入してから傍聴してください。なお、委員会の傍聴は委員長の許可が必要となり、6階議会事務局で受付します。

Q. 子どもと一緒に傍聴したいのですが。

A. お子さんの傍聴も可能ですが、小さなお子さんは保護者の同伴が必要です。

Q. 車椅子でも、議会の傍聴はできますか。

A. 車椅子のかたのためのスペース（3席）があります。

【令和7年3月定例会の予定表】

月日	曜日	会議別
2/25	火	本会議 (議案説明・ 質疑など)
2/26	水	
3/3	月	
3/4	火	
3/5	水	委員会
3/6	木	
3/12	水	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
3/13	木	
3/14	金	
3/17	月	

※正式には市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

次回の3月定例会は2月25日(火) 午前10時に開会予定です。

祝200号 市議会だよりのあゆみ



創刊号

昭和50年5月発行
B5サイズで発行



25号

昭和56年5月発行



50号

昭和62年8月発行



75号

平成5年11月発行



85号

平成8年5月発行
A4サイズにリニューアル



88号

平成9年2月発行
カラー表紙初登場



100号記念号

平成12年2月発行



125号

平成18年5月発行
デザインリニューアル



150号

平成24年7月発行



170号

平成29年7月発行

本年もよろしくお願ひいたします

議長
副議長
議員

岡 菊 武 酒 佐 佐 市 加 柳 佐 田 西 鳴 工 佐 深 渡 一 宇 篠 齊 寺 篠 鈴
庭 名 居 菴 藤 藤 川 藤 瀬 木 上 村 海 藤 藤 川 邊 色 治 田 藤 沢 田 木
(議席順) 弘 宗 睦 裕 文 英 勝 広 寿 和 智 智 智 雅 雄 由 隆 幹 美 正 深
明 裕 治 一 郎 之 雄 泉 彦 修 子 枝 美 加 子 仁 加 人 生 子 彦 郎 紗 巳 太郎

※公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されております。
市民の皆様に対して、本紙上をもって年頭のご挨拶とさせていただきます。

みさと市議会だより(第200号)

発行/三郷市議会

編集/議会だより編集委員会

〒341-8501

埼玉県三郷市花和田648番地1

TEL 048-930-7768(直通) FAX 048-953-1358

URL: <https://www.city.misato.lg.jp/shiseijoho/shigikai/index.html>



UD
FONT